

令和7年度

今帰仁村防災行政無線
機能強化整備業務

発注仕様書

令和7年6月

今帰仁村

目次

- 第 1 章 総則
- 第 2 章 機器構成及び数量
- 第 3 章 機器単体仕様及び機能
- 第 4 章 機器設置仕様

第 1 章 総 則

第 1 条 本仕様書の概要

本仕様書は、今帰仁村が運用している、同報系防災行政無線操作卓設備の画面部 P C、処理部 P C、関連周辺装置及び複数メディア連携システムその他周辺装置の機能強化にかかる物品購入業務に適用する。

第 2 条 業務の目的

地域住民に避難指示等の災害関連情報を伝える伝達手段の強化を目的とする。
各情報伝達手段の特徴を考慮して複数の手段を有機的に組み合わせ、災害に強い総合的な情報伝達システムを構築する必要がある。その為には既設の防災行政無線設備の一部更新と情報配信管理システムの機能強化が必要となる事から本業務を実施することとする

第 3 条 準用規程

本業務については、電波法等関係法令、規程、基準、通達に基づき実施するものとする。

第 4 条 業務の場所

今帰仁村役場内 他

第 5 条 業務の期間

契約日から令和 8 年 3 月 3 1 日迄とする。但し、契約内容については、今帰仁村議会議決後に効力を発する。

第 6 条 書類の提出

受注者は、契約締結後打合せを行い、次の書類を提出しなければならない。

- | | |
|-----------------------|-----|
| (1) 業務工程表 | 1 部 |
| (2) 写真 (工程及び完成状況) | 1 部 |
| (3) 完成図書 | 1 部 |

なお、その他発注者が別に必要と認める書類は、遅滞なく提出しなければならない。

第 7 条 業務の範囲

契約の範囲は機器の調達、据え付け、設定、総合調整試験等全般にわたり、着手から完了までのすべての事項とする。

更新にあたっては現行の機器の動作条件、設定情報等を引き継ぎ、更新対象機器に設定の上、既存の同報防災行政無線システムとの接続、屋外設備 (屋外拡声子局装置等)

との動作を含めた試験調整を行うこと。また、Jアラート受信機など連動している各システムとの動作確認も行うこと。

第8条 検査

総ての機器の据え付け、調整が完了し、発注者の行う検査合格をもって完成引渡しとする。なお、検査に使用する計器、測定器類は受注者において準備するものとする。

第9条 保証

引渡しの翌日から起算して1年間の補償の責に任じ、無償で遅滞なく修理又は復旧しなければならない。

第2章 機器構成及び数量

機能強化対象となるシステムの構成は次の通りとなる。

(1) 同報系防災行政無線

機 器 名 称	詳細	数量	備 考
サーバーラック	J-ALERT 自動起動装置	1 式	
	複数メディア連携システム	1 式	
操作卓（デスク部）	23型タッチパネル	1 式	
	画面部 P C	1 式	据置型構造
操作卓（ラック部）	処理部 P C	1 式	据置型構造
	DC/AC インバーター	1 式	
	SW-HUB	1 式	

なお、D I O 装置、L 2 スイッチ等の P C 周辺機器、および親局無線装置との接続装置は必要に応じて最新機器に更新すること。

また、地図エンジンソフト、テキスト音声合成エンジンソフト等は最新のライセンスに更新すること。

(2) 子局設備設備（3か所）

名 称	数量	備 考
高性能スピーカー	5 式	対象：3カ所（場所については監督員と協議の上、決定する）

(3) 直流電源装置設備

名 称	数量	備 考
蓄電池	1 式	今帰仁村役場無線室、乙羽岳無線中継局

第3章 機器単体仕様及び機能

第1条 防災行政無線設備

(1) 処理部PC

ア. OS	Microsoft® Windows Server® 2022 Standard
イ. CPU	Intel® Xeon®プロセッサ Silver 4410Y 相当
ウ. メモリ	64GB
エ. HDD	600 GB × 3 (RAID5 構成)
オ. 電源	AC100V±10%、50/60Hz
カ. 消費電力	約 440W
キ. 周囲条件	動作時 温度：10～35℃、湿度：8～90%
ク. 寸法	幅：315 mm、奥行き：610 mm、高さ：462 mm
ケ. 重量	30.3 kg
コ. 構造	据置型構造

操作卓全体の処理及び音源データ等の蓄積管理を行う装置。ハードディスクは RAID 構成による 2 重化、電源部、ファンにおいても二重化を施したサーバー型 PC。画面部 PC からの要求に従い、各機器に対して制御を行う。

(2) 画面部PC

ア. OS	Microsoft® Windows® 10
イ. CPU	Intel® Core™i3-12100E プロセッサ相当
ウ. メモリ	8GB
エ. HDD	1 TB
オ. 電源	AC100V、50/60Hz
カ. 消費電力	約 132 W
キ. 周囲条件	動作時 温度：5～40℃、 湿度：20～80%（結露が無い条件にて）
ク. 寸法	幅：約 90 mm、奥行き：約 373 mm、高さ：約 336 mm
ケ. 質量	最大約 7.4Kg
コ. 構造	据置型構造

画面部 PC は、既設 23 インチタッチパネルカラー液晶モニターと接続され、液晶モニターに表示される画面を制御し、ユーザー操作に従い処理部 PC へ要求送信する装置。

サ. 実装するソフトウェア

各 PC には以下のソフトウェアを実装し、既存システムとしての機能を踏襲すること。

- ・操作卓処理ソフト

- ・電子地図表示機能
- ・地図エンジンソフト
- ・通信記録機能
- ・自動サイレン制御機能
- ・分割放送機能
- ・遠方監視制御機能
- ・無線機接続機能
- ・遠隔制御装置（リモコン）接続機能
- ・Jアラート接続機能
- ・地区遠隔制御機能
- ・テキスト音声合成機能
- ・複数メディア通報機能

シ. 実装するソフトウェアの機能

- ・操作卓及と連携し、操作卓から入力したテキスト情報やJ－A L E R T情報等を複数の情報メディアへ配信ができること。
- ・情報配信先は緊急速報メール（エリアメール）、今帰仁村公式 Web ページ、L I N E、Y a h o o 防災等に対応できること。

（3）J－A L E R T自動起動装置

ア. OS	Microsoft® Windows® 10 IoT Enterprise 2019
イ. CPU	Intel® Core™ i3-9100TE 同等以上
ウ. メモリ	DDR4-2666 8GB × 1 同等以上
エ. HDD	200GB×1 同等以上
オ. 電源電圧	AC100V、50 Hz/60Hz

（4）複数メディア連携システム

1. 機能概要

- ア. 親卓からの一度の通報操作にて、音声通報（テキスト音声合成機能含む）、文字情報伝送、複数メディア通報サーバーを介した外部メディアへの通報が実施可能であること。
- イ. 複数メディア通報の通報内容（テキスト音声合成内容、文字伝送内容、外部メディアへの伝送内容）はメッセージセットとして予めプリセットができること。
- ウ. 予めプリセットされたメッセージセットを自動プログラム送出することができること。

エ. 以下の連携先へ配信できること。連携先のシステム改修も含むこと。

- a) エリアメール (docomo)、緊急速報メール (KDDI、Softbank、楽天モバイル)
- b) L I N E
- c) 今帰仁村公式 Web ページ
- d) Y a h o o 防災

2. 機能概要

ア. OS	Windows Server 2019
イ. CPU	インテル Xeon E-2336 相当
ウ. メモリ	16GB 以上
エ. HDD	300GB 10k SC 2.5 12G SAS ×4 (RAID 構成)
オ. 電源	AC100V、50/60Hz
カ. ネットワーク	Ethernet 1Gb 2 ポート
キ. インターフェース	シリアル、モニター、USB 3.0×4、RJ-45×2
ク. 電源ユニット	パワーサプライ (500W) × 2
ケ. 構造	ラックマウント型構造

第2条 子局設備

(1) 高性能スピーカー

- ア. 定格入力 : 60W
- イ. 出力音圧レベル : 116dB 以上 (1W, 1m) (J I S C 5 5 0 4 に準じる)
- ウ. 周波数特性 : 380~11k Hz
- エ. 指向性 : 水平 90° (2kHz) 、垂直 15° (2kHz)
- オ. 寸法 (mm) : 167 (W) × 1,233 (H) × 140.5 (D)
- カ. 質量 : 約 13.5kg- (取付金具除く)

第3条 直流電源設備

(1) 蓄電池

- ア. 形式 : 制御弁式鉛蓄電池
- イ. 容量 : M S E - 2 0 0 型
- ウ. 質量 : 約 15.0kg

第4章 機器設置仕様

第1条

乙が行う機能強化業務の範囲は本仕様書により、正常稼働に必要な一切の業務とする。

第2条

各機器は甲の指定する位置に正しく取り付け、調整にあたっては熟練した技術者により、機器本来の機能を十分に発揮するように行うこと。

第3条

機能強化業務にあたっては、防災業務に支障がでないよう担当職員と綿密な打合せ及び無理のない業務予定をたて迅速に更新を行う。また試験調整の時、誤報させないように十分に注意し行うこと。